

2022年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社 京写

証券コード：6837

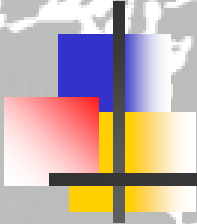
2021年 11月 25日

I. 会社概要

II. 2022年3月期 第2四半期決算概要

III. 2022年3月期 業績予想（予想の修正）





I. 会社概要

- **社 名** 株式会社 京 写
- **代 表 者** 代表取締役社長 児 嶋 一 登
- **所 在 地** 京都府久世郡久御山町森村東 3 0 0 番地
- **設 立** 1 9 5 9 年（昭和 3 4 年） 2 月
- **上 場** 東京証券取引所 JASDAQ市場（証券コード： 6 8 3 7）
- **資 本 金** 1, 1 0 2 百万円（発行済株式数 14,624千株）
- **事業内容** プリント配線板及び実装搬送治具の製造販売
- **主要製品** 片面プリント配線板、両面プリント配線板、多層プリント配線板
電子部品実装、実装搬送治具
- **従業員数** 連結 1, 3 4 0 名
- **主取引先** 自動車関連、家電製品、事務機、映像関連、電子部品・電子機器
その他（アミューズメント、音響機器等）
- **決 算 日** 3 月 3 1 日
- **関係会社** 連結子会社数 11社（2021年 9 月 30日現在）

プリント配線板の種類と主な用途

プリント配線板の種類

京写グループ
生産拠点

説明

主な用途

ビルトアップ基板

層毎に積上げる工法で
製作した高密度多層基板

- ◆半導体
- ◆通信機器(スマートフォン等)
- ◆精密機器(デジタルカメラ)

多層基板

両面にだけでなく内部
にも導体パターンを構成
する基板

- ◆パソコン
(ハードディスク、ネットワーク機器などの
各種コンピュータ周辺機器)
- ◆自動車
(エンジン、ECU(電子制御装置)等)

両面基板

日本
中国
ベトナム

両面に導体パターンを構
成し銅メッキで両面を導
通する基板

- ◆自動車(ライト、インパネ等)
- ◆アミューズメント機器 (ゲーム機)

銀入りホール基板

中国

両面板の一種で銀ペースト
で両面を導通する基板

- ◆自動車(カーオーディオ)
- ◆事務機(OA端末)

アルミ基板

片面基板

日本
中国
インドネシア

アルミ材の片面に導体パ
ターンを構成する高放熱基板

片面のみに導体パター
ンを構成する基板

- ◆電子部品(モーター、電源等)
- ◆家電製品(LED照明機器・
エアコン・テレビ・洗濯機・冷蔵庫等)
- ◆事務機 (複写機、プリンター等)

高

価格

京写グループの得意分野

低

強み1. グローバル生産拠点から世界中へ製品を供給 京写グループマップ



中国グループ

名 称	主要事業	株式所有割合	決算期
京写香港	販売	100.0%	12月
京写広州	生産/販売	95.0%	12月
京写広州貿易	販売(元建)	100.0%	12月

国内グループ

連結子会社数 11社 (2021年9月30日現在)

名 称	主要事業	株式所有割合	決算期
京 写	生産/販売	—	3月
三和電子	部品実装	100.0%	1月



東南アジア

名 称	主要事業	株式所有割合	決算期
京写インドネシア	生産/販売	95.5%	3月
京写タイランド	販売	99.9%	12月
京写マレーシア	販売	100.0%	12月
京写ベトナム	生産/販売	93.3%	12月

北米

名 称	主要事業	株式所有割合	決算期
京写ノースアメリカ	販売	100.0%	12月
京写メキシコ	生産/販売	99.9%	12月

東アジア

名 称	主要事業	株式所有割合	決算期
京写韓国	販売	100.0%	12月

強み2. 片面板で世界最大の生産能力 京写グループの生産能力

■片面プリント配線板

生産拠点	生産能力/月産
九州工場	80,000m ²
中国工場	220,000m ²
インドネシア工場	100,000m ²
合計	400,000m ²

■両面プリント配線板

生産拠点	生産能力/月産
京都工場	15,000m ²
新潟工場	15,000m ²
中国工場（銀川・ホール）	40,000m ²
ベトナム工場	(予定) 40,000m ²
中国生産提携工場(両面・多層)	120,000m ²
合計	230,000m ²

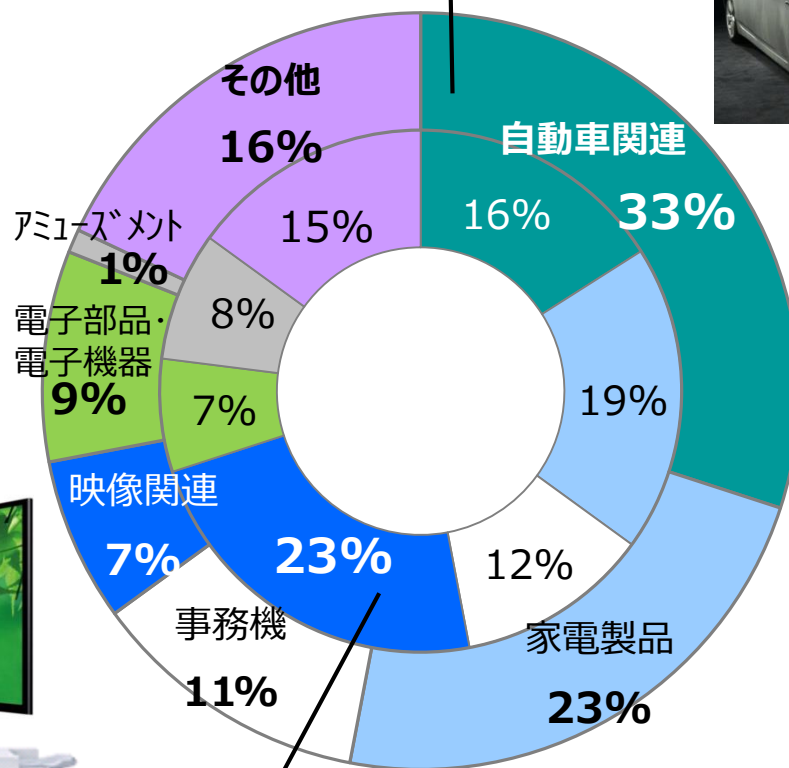
片面プリント配線板世界最大の生産量
月産、東京ドーム建築面積約8.5個分
年間102個分の面積に相当

東京ドーム
面積
46,755m²





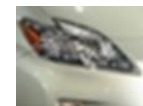
外：21年3月期（前期末）



内：11年3月期（10期前）



LEDヘッドライト



LEDテールライト



メーターパネル、表示装置



パワーウィンドウ



ドアロック



強み4. プリント配線板関連技術の開発 京写の新製品について



印刷技術の京写が繰り出す “もう一つの付加価値”

■ ノンシリコンタイプ粘着キャリア (MagiCarrier-X)

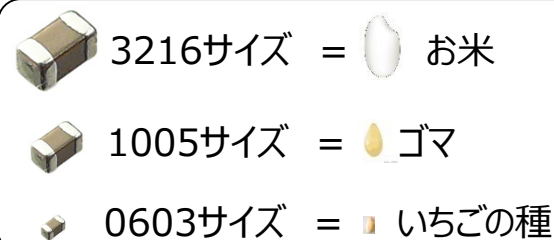
世界発！スクリーン印刷法による治具製造技術をベースに、
ノンシリコンタイプでも高温工程で繰り返し使用可能



■ 0603実装部品対応基板

印刷法で0603サイズの小型電子部品に
対応した基板製造技術を開発

電子部品の急速な
小型化に対応



■ プリントابل基板(銅インクフィルム基板、ストレッチャブル基板)

スクリーン印刷によりフィルム(銅ペースト)や
伸縮性の素材に直接回路を形成
低コストで環境にやさしく(廃液不発生)、自由なデザインが可能



■ 超厚銅基板

銅ベース層により『高放熱性』と『高絶縁性』を実現
再生可能エネルギー分野のパワー半導体向けに開発



トピックス(両面板製造拠点の海外展開)

■ 京写ベトナム (Kyosha Vietnam Co., Ltd)の概要

- ・ 設立年月：2019年1月25日
- ・ 敷地面積：35,044m²
- ・ 工場面積：12,934m²(第一期)
- ・ 工場完成：2020年3月
- ・ 生産品目：両面銅スルーホール基板、
アルミ基板、4層板
- ・ 生産能力：40,000m²/月(第一期)



■ 進捗状況

- ・ 2021年1月 販売開始
生産能力 20,000m²/月 (1ライン体制)
現在自動車向け製品を中心に生産



トピックス(メイコーとの業務資本提携)



- 目的：グローバルに生産販売の相互補完関係を構築し、経営資源の集中と選択の差別化により事業の拡大を図る
- 理由：両社の主力事業はプリント配線板で、得意とする製品が異なり棲み分けができています。両社とも中国、ベトナムで事業拡大を進める等共通点も多く、グローバルに協働することで相互補完が可能

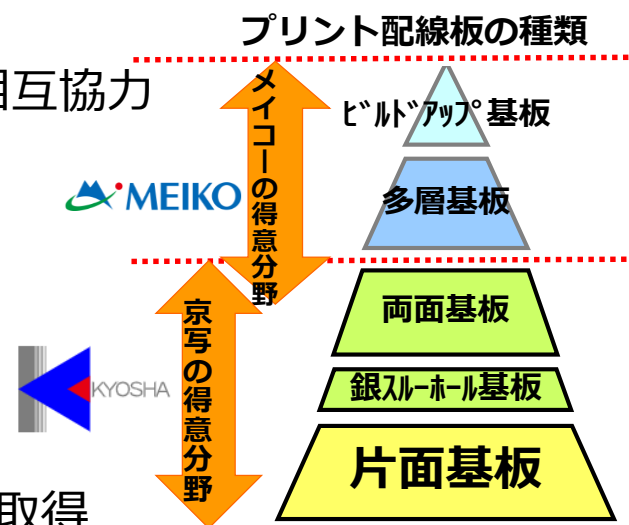
■ 提携内容

(1) 業務提携

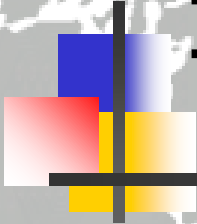
- ①それぞれが得意とする基板分野での生産・販売の相互協力
- ②設計・技術・生産・購買面での相互協力
- ③搬送用治具の生産・販売の相互協力
- ④実装・EMS事業での相互協力

(2) 資本提携

両社は株式市場より相互の株式を1億円に達するまで取得



- 日程：契約締結日2021年5月24日、株式購入開始日2021年5月25日
(10月末現在 取得済み)



Ⅱ. 2022年3月期 第2四半期 決算概要

2022年3月期第2四半期決算業績サマリー

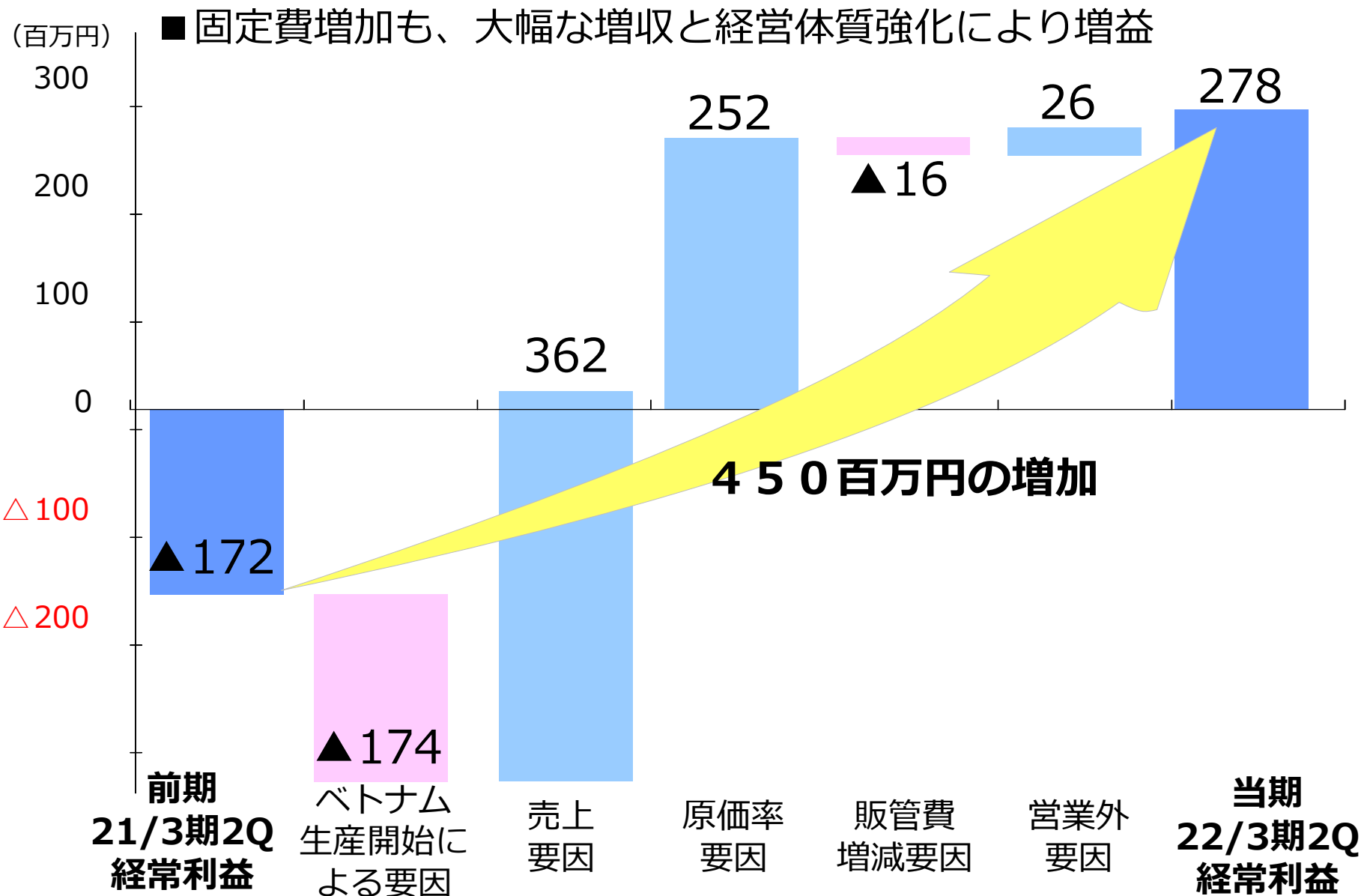


■ 固定費増加も、国内外共に大幅な増収と経営体質強化により増益

(単位：百万円)

連結	前期実績 (2021年3月期2Q)	当期実績 (2022年3月期2Q)	増減額	前期比
売上高	7,860	10,186	2,325	129.6%
営業利益	△ 173	250	423	—
経常利益	△ 172	278	450	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 335	127	462	—
営業利益率	—	2.5%		
KIC (US\$)	106.92	109.80	2.88	102.7%
為替レート KVC (US\$)	108.27	107.69	△ 0.58	99.5%
KHC (HK\$)	13.95	13.88	△ 0.07	99.5%

経常利益の増減前期比較



地域別セグメント業績



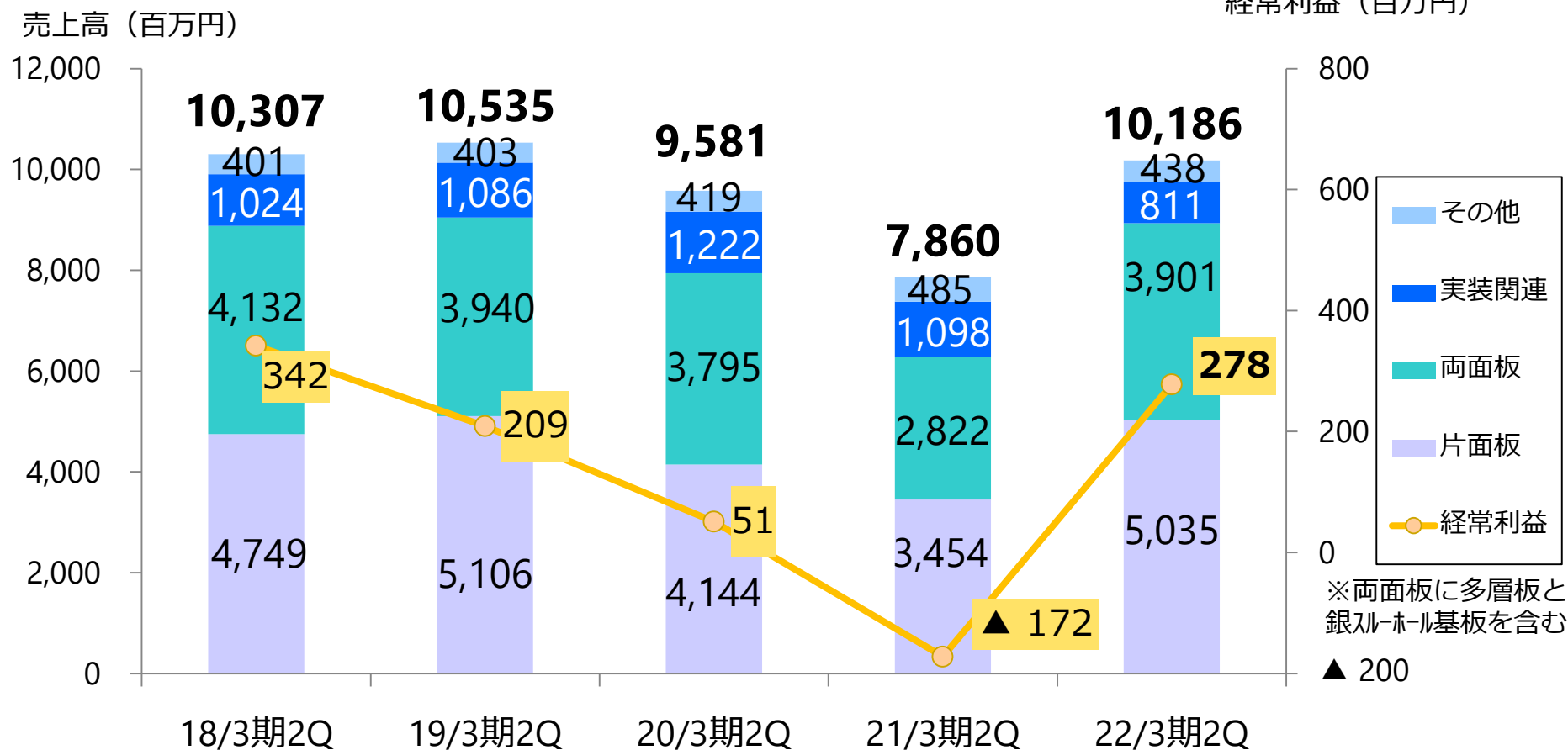
- 日本 : 基板は好調で増収増益、実装関連は低迷
- 中国 : 受注好調で大幅増収、営業利益3倍
- インドネシア : 受注好調で大幅増収、黒字化
- ベトナム : 販売開始、償却費等の固定費増加で赤字増

拠点		前期実績 (2021年3月期2Q)		当期実績 (2022年3月期2Q)		増減	
		百万円	利益率	百万円	利益率	百万円	率
日本	売上高	4,267		4,853		585	14%
	営業利益	△ 150	—	105	2.2%	256	—
中国	売上高	3,900		5,404		1,504	39%
	営業利益	122	3.1%	366	6.8%	244	200%
インドネシア	売上高	629		992		363	58%
	営業利益	△ 79	—	13	1.3%	92	—
メキシコ	売上高	34		48		14	42%
	営業利益	△ 7	—	4	9.9%	11	—
ベトナム	売上高	—		102		102	—
	営業利益	△ 67	—	△ 241	—	△ 174	—

業績推移



■ 基板売上はコロナ前水準に回復、実装関連は受注低迷



為替レート

	2018年3月期2Q	2019年3月期2Q	2020年3月期2Q	2021年3月期2Q	2022年3月期2Q
KIC : US\$	111.06	110.26	108.63	106.92	109.80
KVC: US\$	—	—	110.05	108.27	107.69
KHC: HK\$	14.46	13.87	14.03	13.95	13.88

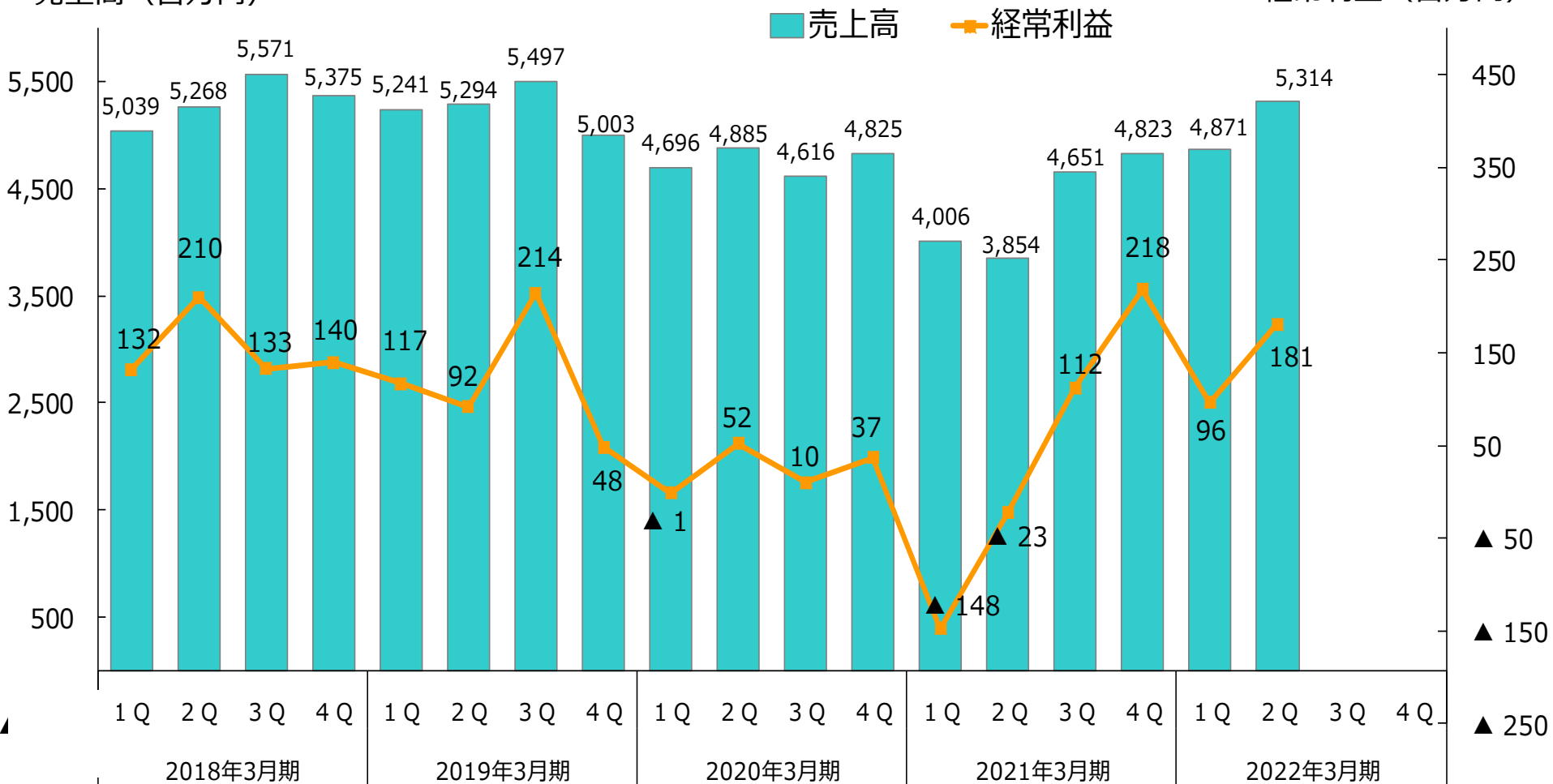
四半期毎の業績推移



■ 1Q比で国内外共に増収・増益、直近5期で最高売上

売上高 (百万円)

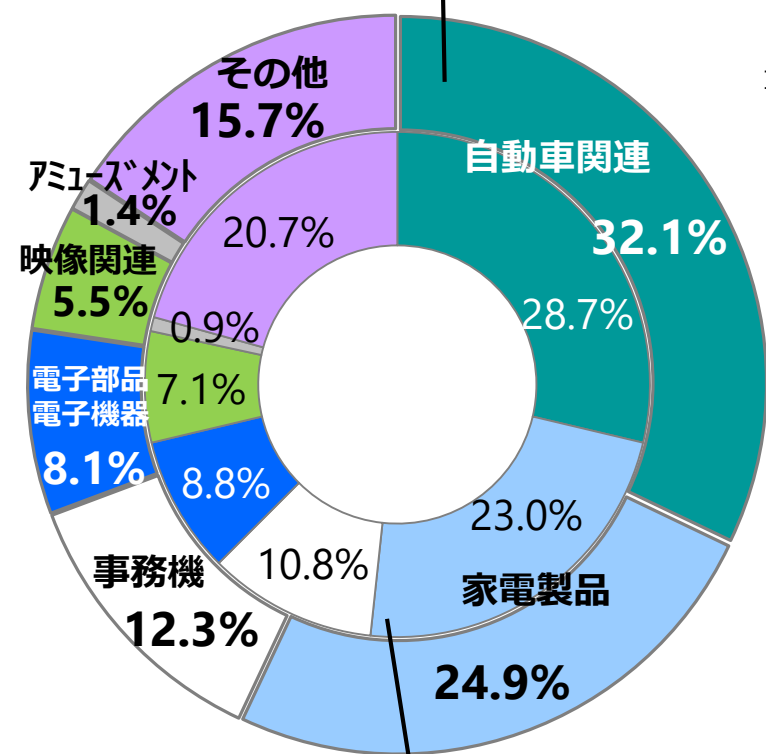
経常利益 (百万円)



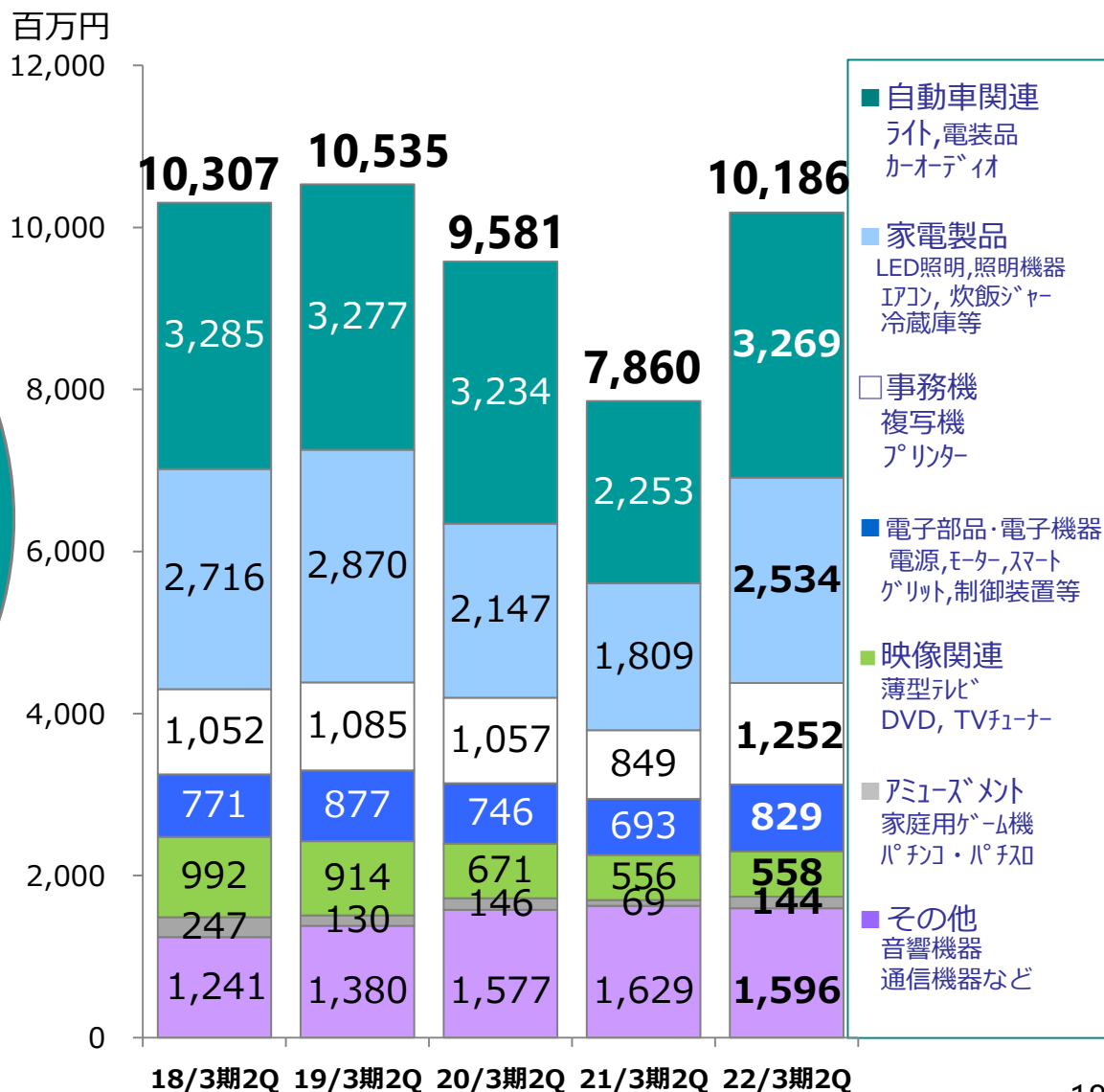
用途別売上高

■ 自動車関連、家電製品、事務機が好調

外：22年3月期2Q（当期）

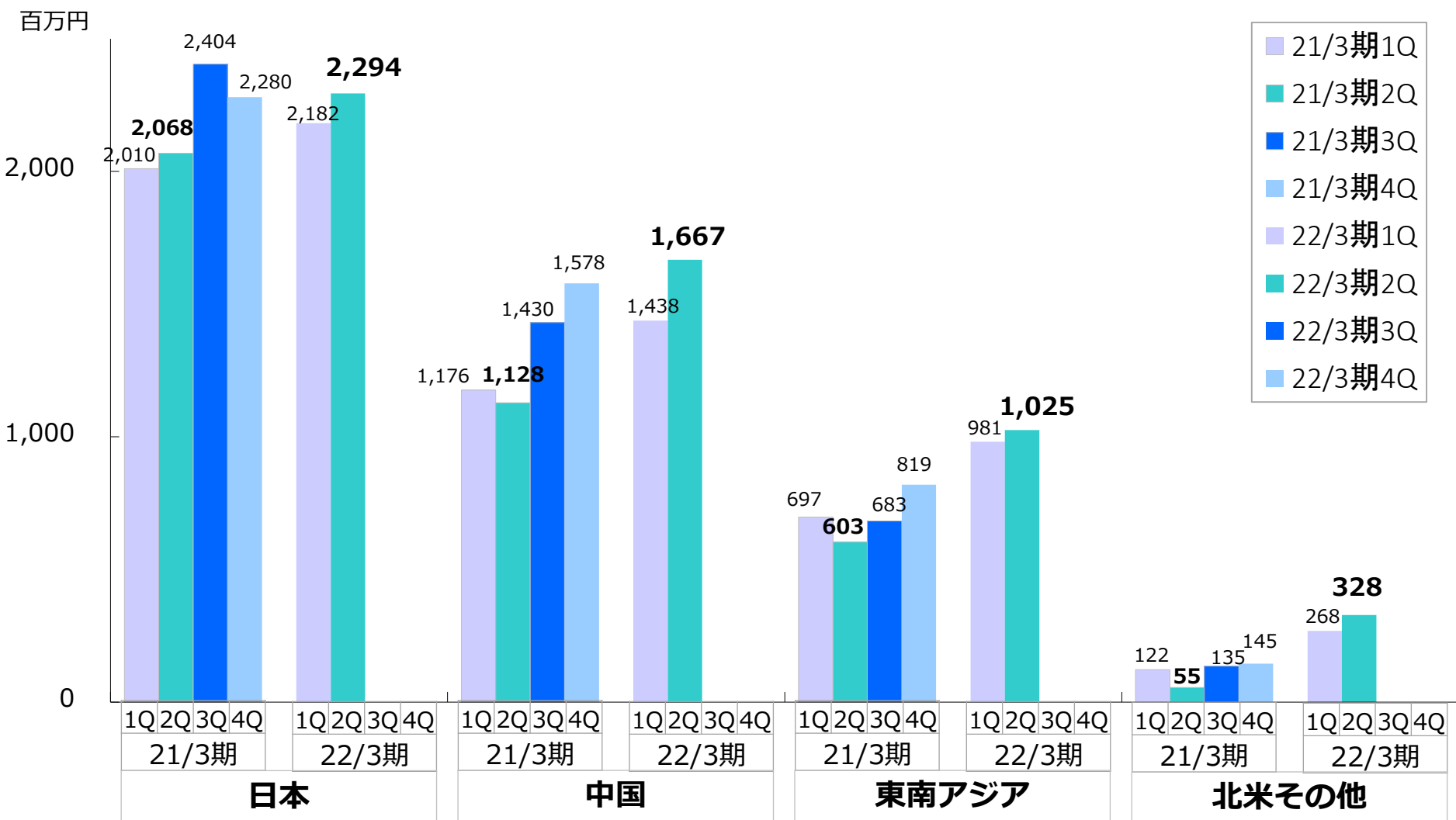


内：21年3月期2Q（前期）



販売地域別四半期売上高

■ 前期2Q比全地域増加、海外比率上昇（46%→57%）

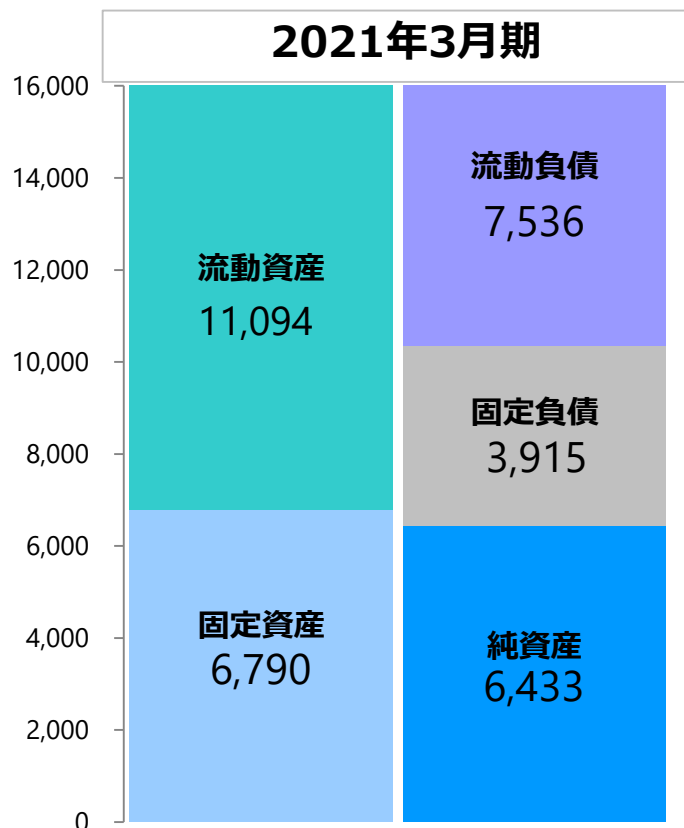


貸借対照表



■ 受注好調、主材料の安定調達で在庫増

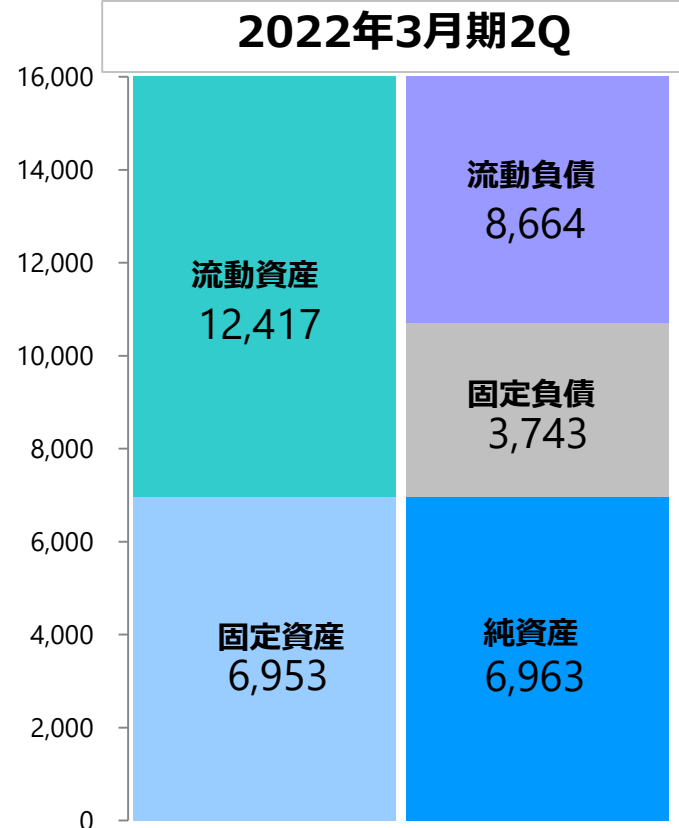
(単位：百万円)



総資産 17,885

経営指標	2021年 3 月期
流動比率	147.2%
有利子負債依存度	35.9%
自己資本比率	34.8%

2021年3月期
為替レート
KIC: US\$110.71円
KVC: US\$103.50円
KHC: HK\$ 13.35円



総資産 19,370

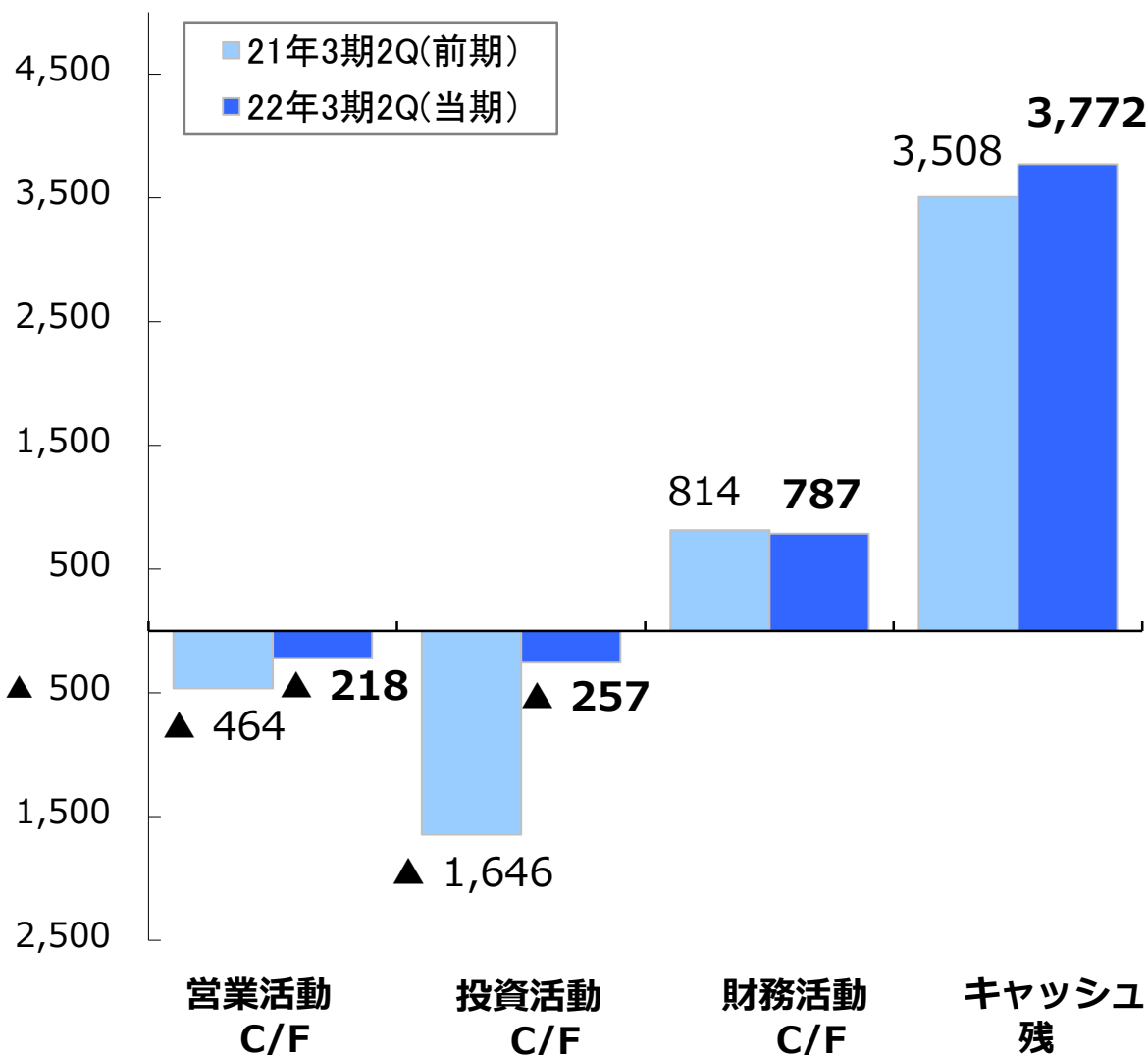
経営指標	2022年 3 月期2Q
流動比率	143.3%
有利子負債依存度	37.8%
自己資本比率	34.9%

2022年3月期2Q
為替レート
KIC: US\$111.92円
KVC: US\$110.58円
KHC: HK\$ 14.24円

キャッシュ・フロー計算書

■ 財務活動C/Fはグループ資金調達実施

百万円



<特記事項>

営業活動C/F △218百万円

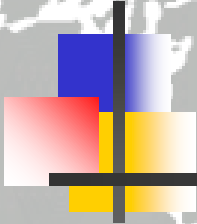
税引前利益	271百万円
減価償却費	414百万円
売上債権の減少	117百万円
棚卸資産の増加	△739百万円
仕入債務の減少	△46百万円
法人税等の支払	△176百万円

投資活動C/F △257百万円

固定資産等の取得	△167百万円
国内・海外生産設備等	
資本提携先株式取得	△80百万円

財務活動C/F 787百万円

短期借入金純増額	947百万円
長期借入金純増額	△130百万円



Ⅲ. 2022年3月期 業績予想

2022年3月期 業績予想



(単位：百万円)

連結	通期業績予想 (2022年3月期)							(参考)
	10/29 今回発表予想	前期比	7/30 前回発表予想	増減額	増減率	第2四半期 実績	進捗率	前期通期実績
売上高	20,500	118.3%	19,500	1,000	5.1%	10,186	49.7%	17,334
営業利益	450	459.2%	300	150	50.0%	250	55.6%	98
経常利益	450	283.0%	300	150	50.0%	278	61.8%	159
親会社株主に帰属する 当期純利益	260	—	120	140	116.7%	127	48.8%	△135
配当予想(円)	5.00	—	5.00	—	—	—	—	0.00

売上高(百万円)

25,000

20,000

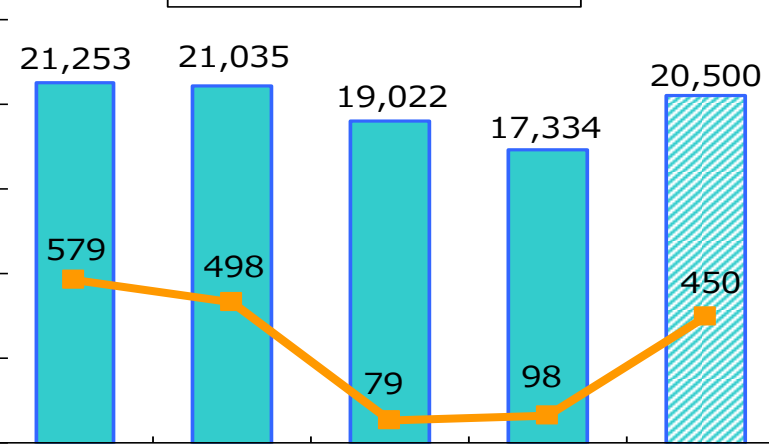
15,000

10,000

5,000

0

売上高 営業利益



2018年3月期 2019年3月期 2020年3月期 2021年3月期 2022年3月期 (予想)

営業利益(百万円)

1,500

1,000

500

0

この資料には株式会社京写の将来の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信にもとづく見込みです。

また経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実性も十分に含んでいます。それゆえ実際の業績は当社の見込とは異なるかもしれない事をご承知おき下さい。